「思いやりあふれる　規律ただしい　元気いっぱい　山中生」

学校だより

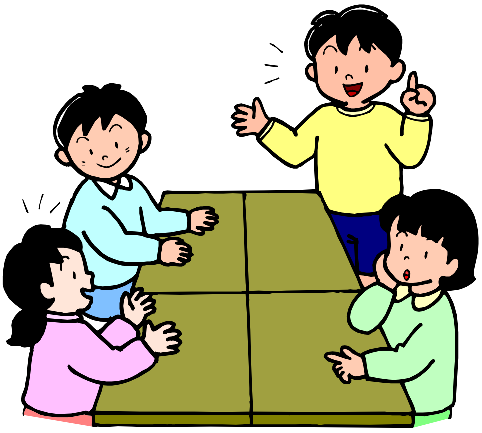
第９号

ともに歩もう　ともに学ぼう　ひとすじの道

発　行
枚方市立山田中学校
平成３０年１２月３日

校　訓
探求 友愛 剛健

つながり、学び合い・・・



早いもので、２学期も残りわずかとなりました。来週からは、学期末の個人懇談も始まり、あっという間に終業式をむかえることになります。

中学校生活の多くの時間は授業です。その授業の時間をどのように過ごしていくかは、皆さんにとって非常に重要なことだと言えます。ひとりで学習に取り組んだり、自分の意見を発表したり、人の意見を聞いたり・・・。

山田中学校では、４人を基本としたグループを活用しながら授業を行っています。２、３年生はもちろん、１年生もこの時期になると慣れてきていると思います。わからないところを尋ねたり、わかるまで教えてあげたり、そしてグループで意見を出し合ってまとめたり。その中には、常にみんなの「つながり」が存在しています。その「つながり」の中で「学び合い」を行い、みんなが高めあっているのです。そして、より学習効果を上げるためには、声のレベルを落として、静かな環境をつくって授業を進めていくことがさらに大切になっていきます。

３年生は、これから高校入試に向けて今まで以上に大切な時期になっていきます。クラスのみんなの「つながり」を、もっともっと強くしていき、一人ひとりの目標に向かって力をつけていくことが大切です。「つながり」のある授業は、一人ひとりを認め合うことができ、一人ひとりの力を伸ばすことが必ずできます。今こそ、みんなで「つながり」のある授業をつくっていきましょう。もちろん、３年生だけでなく、１、２年生も同じことが言えますね。

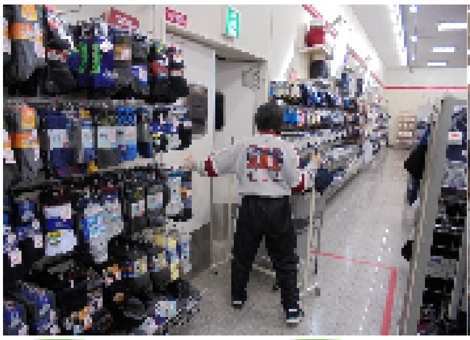
人権って？

人権とは、私たちが幸せに生きるための権利で、人種や民族、性別をこえて万人に共通した一人ひとりに備わった権利です。

人権は、歴史的にみるとヨーロッパで生まれた考え方です。人は一人ひとりがかけがえのない、尊いものであるということから、いかなる場合にも踏みにじったり、無視したりしてはならないものを人権と考えたのです。私たちの日常生活の場面は、家庭・地域・職場・学校などがあり、それぞれの場面に応じた判断の基準があります。その基準の中で、最優先される基本のルールとして、誰もが人権の考え方を尊重するようになれば、人権が私たちの日常生活の中に「文化」として定着し、豊かで暮らしやすい社会が実現するはずです。今月４日から１０日は人権週間でもあります。みなさん考えてみてください。

2年　職場体験学習　11月1、2日

39の事業所で実施



3年　保育体験学習　11月8、9日

渚保育所・阪保育所・小倉保育園

「働く意味とは何だろう」「なぜ働かなくてはいけないのか」、そんなことを考えることができた機会だったのではないでしょうか。生きるためには食べなければならない、食べるためには稼がなくてはならない、そのためには仕事をしなければならない。しかし、人はただ「働かなければならない」だけでは「働く意味（意義）」を見い出せません。仕事には当然、対価としてお金をもらうという意味があります。しかし、生涯使い切れないほどのお金を持った人でも、精力的に仕事をする人も多くいます。また、ボランティア活動や NPO など働いてもお金があまり入ってこなくても生き生きと働いている人もいます。働いた結果であるお金だけでなく、「働き」そのものの内容や充実感が大切であり重要なのだと思います。充実感は「何かを達成したり」「何か意味あることに自分を活かせることができたり」「人の役に立ったり、喜ばれたり」したときに感じるものだと思います。世の中に仕事は様々な種類があります。したくてもその職業に就けなかったりすることもあります。でも働かなければいけません。自分に向いているとか向いていないとかは働き出してわかることもあります。働き出してからその仕事に意義を感じることもあります。「お金＋何か」、この「何か」を探すことが働く大きな意味だと思います。職業講話、職場体験、保育体験は、短い期間でしたが、直接話を聞いたり、体験をして「働く」と言うことに何かを感じ取ってくれたと思います。高齢化や少子化、グローバル社会といわれ、先行き不透明で不安な材料も多くあり現実は厳しいですが、困難を乗り越えて社会に貢献できる大人へと成長していってほしいと思っています。

学期末個人懇談

12 月 14～20 日(3 年は 12 日～)

２学期末の個人懇談を実施いたします。１、２年生は学校での生活やご家庭での様子、３年生は進路のことが中心となります。保護者の皆様におかれましては、年末のお忙しい時期ではございますが、ご出席の程よろしくお願いいたします。